

令和7年度 事業計画

日本アルコール産業株式会社

令和7年3月31日

令和7年度の基本方針

令和7年度は、鹿島新系列の有効活用を中心とした諸施策の実現を目指して取り組んでいく。

アルコール事業は、鹿島新系列を有効に活用し、CO2排出原単位の低い製品をお客様にお届けすることで、環境負荷低減に貢献していくとともに、増強された供給力を有効に活用し、グループ営業との連携を密にして、市場の動向に対して柔軟に対応し、安定供給を実現する。また、日本合成アルコール株式会社の安定操業及び価格適正化の動きを支援する。

関連事業は、商品力の向上及び効果的な営業展開によって事業基盤の強化を図る。

また、新卒採用予定者の確保とグループ人事交流による人材活用を図るとともに、DXを推進し、情報基盤の安定的運用と充実を図り、働きやすい職場づくりに取り組む。

I. アルコール事業

■ 発酵アルコール

- 鹿島新系列で製造される、CO2排出原単位の低い製品をお客様にお届けすることで、環境負荷低減に貢献する。
- 鹿島新系列の安定化を図るとともに、新・旧系列の長期併行稼働体制づくりにつとめ、市場の動向に柔軟に対応して安定供給を実現する。
- お客様からの情報及び要望を理解し商圏の維持・拡大に努め、とりわけ、お客様のCO2削減に貢献できる製品をお届けするなど、営業力強化を図る。
- ウルサン原料基地の効率的運用と工場への安定回送を、コスト低減を図りつつ確実に実施する。
- 食品安全のマネジメントシステムFSSC22000について、3工場及び関連部署と協調して認証を維持する。

■ 合成アルコール

- 原料やエネルギー資源の価格の見通しが不透明な中、お客様のニーズを把握して販売数量の維持に努め、日本合成アルコール株式会社の安定操業と価格適正化の動きを支援する。

Ⅱ . 関連事業

■ 発酵製品

- ・ 特殊肥料の商品力を強化するため、基礎的な実証研究に注力する。また、エコロジアルの購入実績がある顧客へ新規開拓を行うなどの営業を展開し拡販に取り組む。
- ・ 土壌還元消毒用資材は、その効果が明確で環境にやさしい商品として完成しており、営業でその特徴を訴求していくとともに、土壌病害虫の被害状況を県振興局、JA及び種苗商社から積極的に収集して農家への営業を行い、併せて土壌病害虫分析も活用して拡販を進める。

■ アルコール製品

- ・ 手指消毒剤は、重点顧客を丁寧にフォローしつつ、使用期限切れ手指消毒剤を引取り、回収した消毒剤を有効利用している当社独自の取り組みを積極的にアピールして、販売数量の維持を図る。

Ⅲ. 技術力の強化

- 鹿島新系列に導入した新技術及び各工場独自技術の水平展開を進めるとともに、全工場でプロセスエンジニアリングやメンテナンス技術力の向上に努め、技術開発報告会等を通して技術力の更なる強化を図る。

Ⅳ. 人材力の向上

- 技術系社員人材育成プログラムを確実に実行し、特に製造グループ若手社員の育成に注力する。また、教育訓練、研修、資格取得を通じ人材力の向上を図るとともにグループ人事交流による人材活用を図る。

Ⅴ. DX推進を通じた業務改革

- デジタル化による業務の効率化を推進する。

Ⅵ. 働きやすい職場環境の整備

- 社員が仕事と家庭を両立しながら長く働けるよう、処遇改善、社宅の整備などを行い、働きやすい職場環境の整備に取り組む。

VII. 安定配当の継続

- 適正な営業利益の確保に努め、安定配当を継続します。

収支計画概要

以上の取り組みにより、令和7年度事業計画では、以下の目標の達成を目指します。

(単位:百万円)

売上高	35,896
営業利益	581
経常利益	530